

# 女性の収入向上のために

---

2014年3月14日

24年1次隊 村落開発普及員

メディナサバ 荒平愛佳

# 調査・発表内容

---

1. 現状で女性の家計にどのような問題があるのかの調査、考察
2. 現在実施している女性グループでの野菜栽培活動について、グループの運営面での問題点と対応案を検討

# 1. 現状で女性の家計にどのような問題があるのかの調査、考察



# 背景

- 現在、女性グループと野菜栽培、果樹苗木等により収入向上を目指して活動しているが、現状で彼女らの家計にどのような問題があるのか



# 調査対象地域

- カオラック州ニオロ県メディナサバ郡内の2村
- 郡庁があるメディナサバより、7～8kmの位置に存在
- 民族はほとんどがウォルフ族
- 主要産業は雨季農業で、落花生、トウジンビエ、トウモロコシに栽培がさかん。
- 調査対象者は、家計主が雨季農業を生業としている家庭



# 現状調査①

## ①家計の中で女性が占めるものは何か

男性と女性の財布が別々で、支出の役割が分担されている。下記の通り。

### 男性の財布からの支出

- ・主食(米、チエレ)
- ・イスラム教のお祭り
- ・雨季農業の種・肥料代
- ・家・機械の修理費
- ・医療費
- ・教育費
- ・水代

男性のお金に余剰がある場合は、男性が女性にお金を渡す※1

### 女性の財布からの支出

- ・主食以外の食費 ※2
- ・石鹼代
- ・水代
- ・自分や子供たちの洋服・靴代
- ・雨季農業の肥料代

※1 男性と女性に渡す金額は家庭により異なる。ある村では、ほとんどの家庭において男性からのお金の手渡しは無く、上記支出を女性が全て負担している。ある家庭では、雨季農業の販売後やその他仕事により収入があった場合、男性が女性へお金を手渡している。

※2 家庭の夫人や、同居している兄弟の妻たちで食費を分担(料理を作る人が支出を担当)

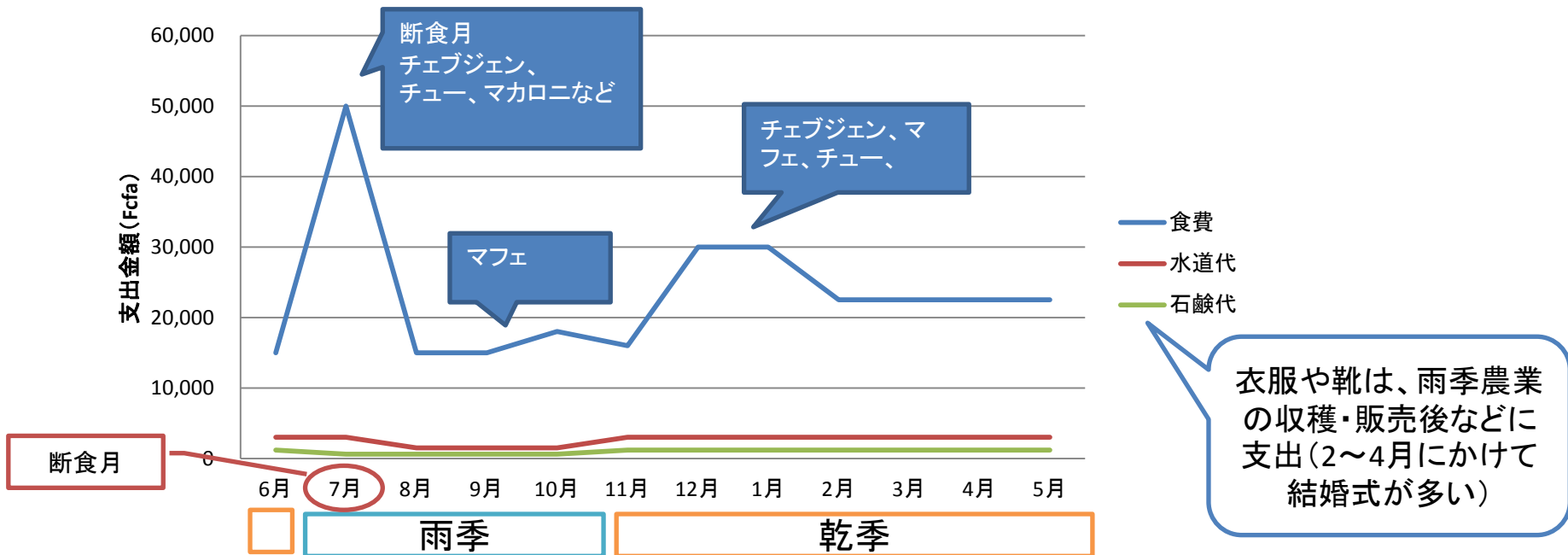
# 現状調査②

## ②女性の支出についての詳細

年間の支出を調査したところ、雨季と乾季の食費の違いが顕著に。また断食月が突出している。

→女性の支出により食事内容が大きく変わる。

女性の支出(1世帯あたり)



# 現状調査③

## ③女性がどのようにしてお金を得ているか

落花生販売が主な収入源で、その他に雨季の野菜栽培、トウジンビエを脱穀したものの販売によりお金を得ている。

ただし、雨季農業の落花生栽培や野菜栽培は天候や土の条件、堆肥や肥料施肥の違いにより収量が大きく異なる。

そのため人によっては、雨季に、雨季農業による収入が底をついている状態。お金が不足したら、実家等からお金をもらう、また知りあいからの借金に頼る。

→収入源が雨季農業に偏り、収入が雨季農業の出来に左右される。

(例)ある女性の収入を得るための仕事

乾季  
10月～3月

- トウジンビエを女性が脱穀し販売
- 女性所有の畑で収穫した落花生の販売  
(皮付き、皮むき加工、テケテケ(落花生圧縮)加工したもの)
- その他野菜

乾季  
3月～5月

- 落花生畑にて落花生を拾い販売
- トウジンビエ畑にてトウジンビエを拾い脱穀し販売

雨季  
6月

- 薪販売(2～3回)

雨季  
7月～9月

- 畑での日雇い農業

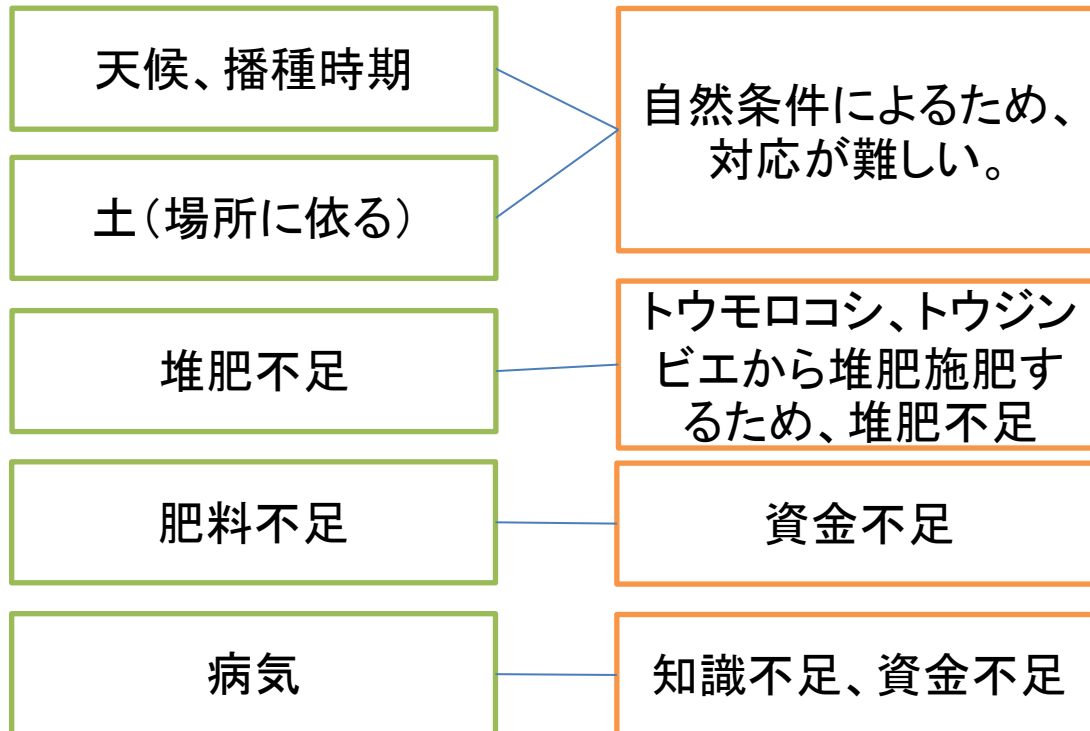


# 現状調査④

## ④雨季農業の落花生栽培と野菜栽培について

女性所有の畑にて、ほぼ全ての女性が落花生を栽培している。  
また野菜栽培(ジャハトウ、ナスビ等)を実施している人もいる。

しかし収穫量は人により大きく差があることが分かった。その原因は下記の通り。



# 現状調査⑤

## ⑤貯蓄や余剰に対して

- ほとんどの女性が、雨季農業による収入が一括で入った場合、衣服代、日々の生活費として使用され、生活費以外の余剰が作れていない。
- 2村では、断食月のためにグループで現金貯蓄を実施している。

→雨季農業のための投資が捻出できていない状況。

→グループでの現金貯蓄・・・他村にも勧められるのでは？

# 現状整理と問題点

## ■ 現状整理

1. 女性と男性の財布、支出の役割が分担されている。
2. 女性の収入額が食事内容に影響する。
3. 女性の収入のほとんどを雨季農業による販売が占め、自然条件や堆肥、肥料施肥の有無、病気の発生の有無により収入量に大きく差があり、資金不足、病気への知識不足が原因。
4. 人により、雨季は落花生販売によるお金が底をつき、また現金収入手段がほとんど無いことから、日々の食費を捻出することに精いっぱい。
5. お金が不足した場合は、実家からの贈与や知り合いからの借金に頼る。
6. 雨季農業のための投資が捻出できていない状況。

## ■ 問題点

1. 雨季の期間の必要支出の捻出(食費、石鹼)。
2. 雨季農業については、堆肥の量的不足、肥料施肥のための資金不足、病気の知識不足。
3. 生活費以外の投資が捻出出来ない。
4. 突発的な支出に対応できない。
5. 家計が一本化されていないことで無駄がある可能性。※

※支出の役割が分かれていることによるメリットも大きいと考える。

# 問題点と対応案

## 問題点

1. 雨季の期間の必要支出の捻出  
(食費、石鹼等)

2. 女性所有畑にて堆肥・肥料施肥、  
また病気に対する適切な対応が実  
施できていない。

3. 生活費以外の投資が捻出できな  
い状況

4. 突発的な支出に対応できない

5. 家計が1本化されていないことで、  
無駄がある可能性 ※

## 対応案

1. 乾季野菜栽培による収入向上によ  
る雨季の生活費の捻出

2. 雨季農業の収入向上、収入の多様  
化

3. グループ貯金の実施。  
保険制度の紹介。

※支出の役割が分担されていることによるメリットもあると考えるため、今回のアクションプランには入れない。

# 対応案1

## ■ 対応案1

- 乾季野菜栽培による収入向上

## ■ 詳細

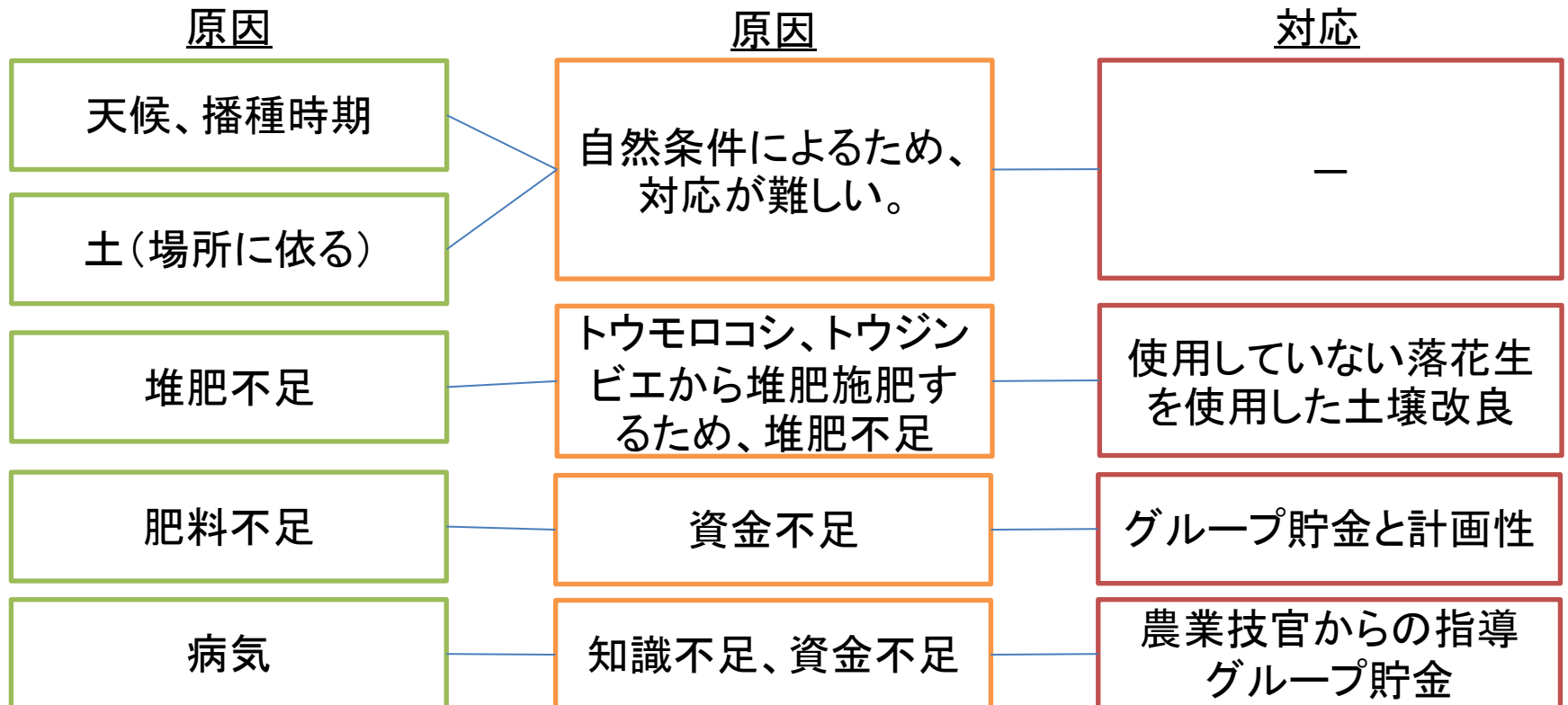
- 現在3村、8女性グループで野菜栽培を実施。これを隊員が帰国後も継続して行えるように、今後支援していく。
  - 詳細について、別テーマにて発表。
- 乾季野菜栽培が終了後の6月末にお金を分配する。

# 対応案2

## ■ 対応案2

- 雨季農業の収入向上、収入の多様化

## ■ 問題点に対して、下記の対応を行う。



# 対応案3

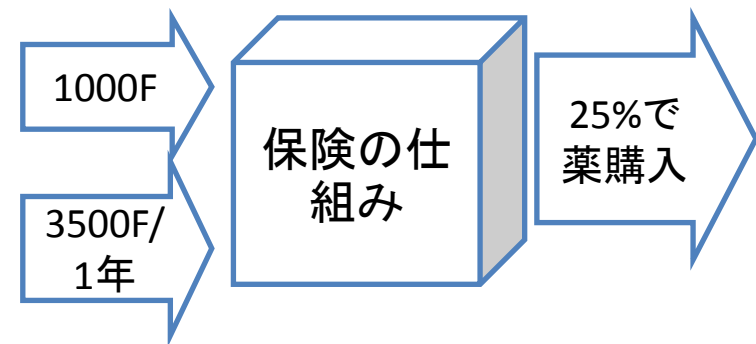
## ■ 対応案3

- 突発的な支出に対応するため、グループでの共同貯金を実施。また保険の仕組みを村に紹介する。

## ■ 詳細



- 管理する人、鍵を所有する人(2人)、記帳係を作る。
- 月に一度話し合いを実施
- それぞれ余剰のある金額を保管。記帳。
- お金が必要な場合は、貯金箱からお金を出す。
- 貯蓄した金額以上のお金を引き出したい場合は、金利をつける。



- 登録代として、1000F支払う。
- 年間3500F支払うことで、病院チケットが無料、また25%で薬を購入可能。
- 0~5歳は無料で購入可能。

## 2. 現在実施している女性グループでの野菜栽培活動について、グループの運営面での問題点と対応案を検討





# 背景と現状

## ■ 背景

- 現在、8女性グループと乾季野菜栽培を実施しているが、それぞれのグループで問題が見られる。帰国前までにこれらを解決し、帰国後も継続して行われるような仕組みを作りたい。

## ■ 現状

- グループメンバーのモチベーションに差がある。
- 会計が不明瞭であるため、隊員が離れた後のグループ運営が心配
- 隊員が種子を購入・販売、一部グループでは種子代を肩代わり

# 課題と対応

## 現状

## 課題

## 対応

グループのモチベーションに差がある

目的意識の低さ

労働に見合う配分が得られていない

若い層が主体性にかける

ノートへの効果的な記帳方法を知らない

会計が不明瞭

記帳の習慣がない

ほとんどの人が文字を読めない、書けない

昨年の売上を貯蓄出来ていない

隊員が種子代を購入、または肩代わり

購入のアクセス方法を知らない

依存体質

目標金額の設定

栽培計画の策定

グループメンバー全員での話し合い実施(定期的に)

役割、仕事内容の分担の徹底

効果的な記帳方法を教える

習慣がつくまで隊員がフォロー

やる気がある人に対する識字教育実施

翌年のための投資金額を算出し、貯蓄する

アクセス方法、誰がいつ購入するか確認

# ただ

問題分析をするのは簡単だが、どのように女性達と話し、いかに自主的な取り組みを促すかが課題。。

これらの課題の中で2年目取り組もうとしたものもあるが、うまくいっていないものも。

## 何が原因か？

一方的に話しても、ついてこない。

質問をして出来るだけ女性達の自主的な発言を促そうとしたが、促せず、あきらめてしまった。

## 課題は？

私の話し方、質問の仕方。

## 課題を解決するために？

話の仕方、質問の仕方を、分かりやすく。彼女らの生活に即した質問をする。



ご清聴ありがとうございました。